



2018年
9月03日
No.A18-05

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2018年8月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) 講演会

・2018年8月29日(水)、松林 健一郎・外務省中東第二課長「湾岸情勢」(於：日本記者クラブ「会見場」)



<要旨>

講師より、イラン核合意をめぐる米国など当事国の動向、内政や外交を踏まえたイラン情勢、サウジの政治や国内の変化、カタール断交の動向について説明があった。会場からは、イランの中東地域における行動に対する日本側の懸念などについての質問が出た。なお、公演はオフレコで行われた。

2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行 (会員限定)

・2018年8月号(2018年9月3日付)

1. アフガニスタン：難航する政府主導の和平交渉
2. イエメン：連合軍の爆撃による民間人の犠牲が相次ぐ
3. サウジアラビア：駐サウジ・カナダ大使の追放
4. トルコ：米国をWTOへ提訴
5. ヨルダン：天然ガス輸入計画の一環で政府が土地を接収

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) イスラーム過激派モニターの発行 (会員限定)

・No.10「シリア：安田純平氏と思われる人物の動画」(8月1日)

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/)

(3) 中東かわら版の発行

- ・No.43「イスラエル：国民国家法をめぐるドルーズ派の動向」(研究員 西舘康平、8月6日)
- ・No.44「イラン：リヤール暴落によるデモの発生とロウハーニー大統領の国会召喚」(研究員 近藤百世、8月6日)
- ・No.45「トルコ：米国によるトルコ閣僚への経済制裁発動とトルコの報復」(研究員 金子真夕、8月6日)
- ・No.46「イエメン：サウジ、UAEと「アラビア半島のアル=カーイダ」との共謀」(主席研究員 高岡豊、8月7日)
- ・No.47「イラン：米国による対イラン制裁の第一段階発動に伴う影響の概要(～8月14日)」(研究員 近藤百世、8月15日)
- ・No.48「トルコ：トルコリラの続落とその背景」(研究員 金子真夕、8月15日)
- ・No.49「イラン：カスピ海の法的地位協定に署名」(研究員 近藤百世、8月16日)
- ・No.50「イスラエル：ネタニヤフ首相が「2030安全保障構想」を提示」(研究員 西舘康平、8月17日)
- ・No.51「サウジアラビア：アラムコ社の新規株式公開中止か？」(主席研究員 高岡豊、8月23日)
- ・No.52「アズハル、セクハラを断罪する声明を発表」(主席研究員 高岡豊、8月28日)
- ・No.53「サウジアラビア：アラムコ社新規株式公開の遅れに関する報道まとめ」(研究員 金谷美紗、8月29日)
- ・No.54「カタール：アメリカでのロビー活動を強化」(主席研究員 高岡豊、8月31日)

※内容はホームページをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

3. その他

(1) 要人往来

- ・ 8月2日(木)、ASEAN 関連外相会議出席のためシンガポールを訪問中の河野太郎外務大臣が、メヴリュット・チャヴシュオール・トルコ共和国外務大臣と日土外相会談を開催。日・トルコ経済連携協定(EPA)交渉の加速化、トルコ・日本科学技術大学にかかる協力の推進、防災分野での協力強化といった二国間協力について意見交換を行った。
- ・ 8月8日～10日(水～金)、スルターン・ジャーベル・アラブ首長国連邦(UAE) 国務大臣兼アブダビ国営石油会社 CEO が来日。西村副長官を表敬訪問し(8日)、日・UAE「包括的・戦略的パートナーシップ・イニシアティブ(CSPI)」に基づく第1回協議に参加した後で佐藤正久外務副大臣と意見交換(9日)、翌10日、河野太郎外務大臣と昼食会を行った。ジャーベル大臣はCSPIの枠組を活用し、あらゆる分野で二国間関係を更に増進させたいと強調した。

(2) 人事異動

- ・ 8月20日
駐ニュージーランド大使
小林弘裕(元駐イラン大使)
- ・ 8月24日
駐イラン大使
齊藤貢(元駐オマーン大使)